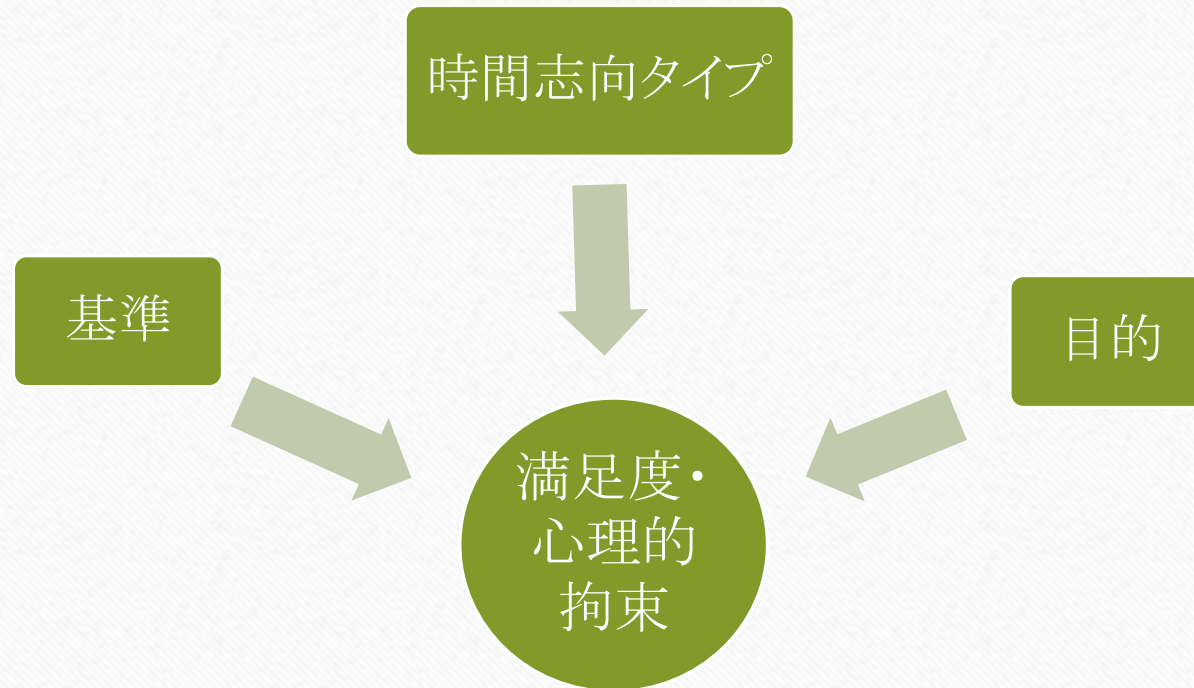


アルバイトへの姿勢と 時間志向の関係

メンバー 伊藤綾香 山田海 和田瑞季

分析の方針①(仮説の検証)



志向タイプと満足度・心理的拘束

モデル		標準化されていない 係数		標準化係 数	t	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	73.890	10.909		6.773	.000
	過去否定 タイプ	.673	1.759	.024	.382	.702
	現在快樂 タイプ	.214	1.924	.006	.111	.912
	未来型	.391	1.809	.013	.216	.829
	過去肯定	.917	1.719	.031	.534	.594
	現在宿命	-2.947	2.229	-.088	-1.322	.187

a. 従属変数 満足度

モデル		係数 ^a				有意確率
		標準化されていない係 数		標準化係数	t	
		B	標準誤差	ベータ	t	
1	(定数)	15.152	13.158		1.152	.250
	過去否定タ イプ	1.503	2.122	.043	.708	.479
	現在快樂タ イプ	2.536	2.319	.063	1.093	.275
	未来型	.889	2.184	.024	.407	.684
	過去肯定	-2.128	2.069	-.059	-1.029	.304
	現在宿命	3.396	2.688	.083	1.263	.207

b. 従属変数 心理的拘束

基準・目的と満足度・心理的拘束の関係

		係数 ^a							
		標準化されていない係数		標準化係数				共線性の統計量	
モデル		B	標準誤差	ベータ	t	有意確率	許容度	VIF	
1	(定数)	73.506	8.064		9.115	.000			
	時給	-1.961	1.085	-.104	-1.807	.072	.880	1.137	
	仕事内容	.995	1.566	.036	.635	.526	.897	1.114	
	交通の便	1.652	1.120	.087	1.475	.141	.849	1.178	
	人間関係	-.934	.855	-.060	-1.092	.276	.970	1.031	

従属変数：満足度

		係数 ^a							
		標準化されていない係数		標準化係数				共線性の統計量	
モデル		B	標準誤差	ベータ	t	有意確率	許容度	VIF	
1	(定数)	58.826	6.677		8.811	.000			
	生活費	.708	.710	.054	.997	.320	.983	1.017	
	小遣い	2.067	1.315	.089	1.572	.117	.918	1.090	
	長期計画	-.250	.817	-.018	-.306	.760	.830	1.206	
	経験値	.874	.858	.059	1.019	.309	.886	1.129	

従属変数：満足度

分析方針①(仮定の検証)

基準

目的

満足度
心理的
拘束

分析の方針②

志向タイプ



基準・目的



満足度・心理的拘束

分析の方針②

志向タイプと基準, 目的の回帰分析

二つの要素を複合し一つの要素に

複合した要素と満足度, 心理的拘束を回帰
分析し比較する

時間志向と基準，目的に関係があったもの

- 未来志向×人間関係
- 現在快樂×交通の便
- 現在快樂×生活費
- 現在快樂，過去肯定×小遣い
- 現在快樂，過去肯定，未来志向×長期計画
- 現在快樂，過去肯定，未来志向×経験値

考えられること

・基準や目的と有意な関係があった志向はジンバルドが理想的と述べた、過去肯定, 現在快楽, 未来型であった

⇒理想的な志向をもった人物はアルバイトに対して、明確な基準や目的を持って取り組んでいることが分かる。

・長期計画や経験値といった将来性の高い目的に現在快楽が要因となっていることは意外だった。

未来志向VS未来志向×経験値

モデル		係数 ^a				
		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	37.673	6.711		5.614	.000
	平均値:未来型	-3.224	2.504	-.087	-1.287	.199
	未来志向_経験値	.552	.308	.121	1.792	.074

a. 従属変数 心理的拘束

考えられること

- バイトの経験が自分の財産になると考えている(未来志向性)

⇒バイトに取り組む意欲が高い

⇒他の未来志向の学生と比べ、バイト業務それ自体に自分自身の課題を見出し、バイトに割く思考の割合が増加する

未来志向 × ○○ ⇔ 満足度

モデル		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	65.938	4.604		14.322	.000
	未来志向_時給	-.805	.350	-.186	-2.302	.022
	未来志向_仕事内容	.250	.435	.048	.574	.567
	未来志向_交通の便	.394	.350	.086	1.125	.261
	未来志向_人間関係	-.361	.271	-.091	-1.333	.183
	未来志向_生活	.258	.216	.071	1.193	.234
	未来志向_小遣い	.732	.403	.151	1.814	.071
	未来志向_長期計画	-.122	.262	-.034	-.464	.643
	未来志向_経験値	.141	.275	.037	.514	.608

従属変数 満足度

考えられること

- 小遣いが目的の場合、他の基準や目的と比較して近視眼的な姿勢でバイトに取り組んでいると言える。よって自らの満足度合いは小遣いというシンプルな尺度で満たされるため、満足度を増加させたと考えられる。
- 時給を基準にバイトを決定する場合、本来持った自分の価値観とは合わないバイト選んでしまう可能性があるため満足度は低下すると考えられる。

結論

- バイトへの満足度や心理的拘束の度合いには、個人の志向タイプとバイトへの考え方双方が影響を与えている。
- 理想的な時間志向を持つ人は何かしら明確な基準や目的を持ってアルバイトに取り組んでいる。
- 過去否定型はすべての物事を否定的にとらえる(幸せの閾値が高い)ため、満足度や心理的拘束には有意な関係がなく、基準や目的とも有意な関係は見られなかった。
- 現在宿命型は物事に対する執着心が低く、基準や目的にも強いこだわりを持たないため時間志向以外の要素(性格、生活環境など)が強く影響している。

志向タイプと交通の便

モデル		係数 ^a						
		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率	共線性の統計量	
		B	標準誤差	ベータ			許容度	VIF
1	(定数)	3.011	.541		5.567	.000		
	平均値: 過去否定タイプ	-.044	.088	-.029	-.500	.617	.797	1.255
	平均値: 現在快樂タイプ	.200	.094	.117	2.132	.034	.887	1.127
	平均値: 未来型	.073	.090	.046	.805	.422	.835	1.198
	平均値: 過去肯定	.082	.087	.052	.942	.347	.880	1.136
	平均値: 現在宿命	.014	.109	.008	.132	.895	.692	1.445

a. 従属変数 交通の便

志向タイプと人間関係

モデル		係数 ^a						
		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率	共線性の統計量	
		B	標準誤差	ベータ			許容度	VIF
1	(定数)	2.467	.661		3.731	.000		
	平均値: 過去否定タイプ	-.157	.107	-.085	-1.463	.144	.797	1.255
	平均値: 現在快樂タイプ	.086	.114	.041	.751	.453	.887	1.127
	平均値: 未来型	.240	.110	.123	2.168	.031	.835	1.198
	平均値: 過去肯定	.100	.106	.052	.936	.350	.880	1.136
	平均値: 現在宿命	.178	.133	.083	1.337	.182	.692	1.445

a. 従属変数 人間関係

志向タイプと生活費

モデル		係数 ^a						
		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率	共線性の統計量	
		B	標準誤差	ベータ			許容度	VIF
1	(定数)	2.634	.792		3.324	.001		
	平均値: 過去否定タイプ	.035	.129	.016	.271	.787	.795	1.258
	平均値: 現在快樂タイプ	.368	.137	.148	2.682	.008	.887	1.127
	平均値: 未来型	-.031	.132	-.013	-.233	.816	.835	1.198
	平均値: 過去肯定	-.023	.127	-.010	-.178	.859	.880	1.136
	平均値: 現在宿命	-.176	.160	-.069	-1.103	.271	.690	1.449

a. 従属変数 生活費

志向タイプと小遣い

モデル		係数 ^a							
		標準化されていない係数		標準化係数		t	有意確率	共線性の統計量	
		B	標準誤差	ベータ	許容度			VIF	
1	(定数)	3.272	.432		7.567	.000			
	平均値: 過去否定タイプ	.070	.070	.058	1.001	.317	.795	1.258	
	平均値: 現在快樂タイプ	.145	.075	.106	1.936	.054	.887	1.127	
	平均値: 未来型	.031	.072	.024	.424	.672	.835	1.198	
	平均値: 過去肯定	.117	.070	.093	1.683	.093	.880	1.136	
	平均値: 現在宿命	.012	.087	.008	.135	.893	.690	1.449	

a. 従属変数 小遣い

志向タイプと長期計画

モデル		係数 ^a						
		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率	共線性の統計量	
		B	標準誤差	ベータ			許容度	VIF
1	(定数)	1.134	.736		1.540	.125		
	平均値: 過去否定タイプ	.070	.120	.033	.588	.557	.795	1.258
	平均値: 現在快樂タイプ	.342	.127	.144	2.681	.008	.887	1.127
	平均値: 未来型	.279	.123	.126	2.270	.024	.835	1.198
	平均値: 過去肯定	.223	.119	.102	1.879	.061	.880	1.136
	平均値: 現在宿命	-.189	.149	-.078	-1.273	.204	.690	1.449

a. 従属変数 長期計画

志向タイプと経験値

モデル		係数 ^a						
		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率	共線性の統計量	
		B	標準誤差	ベータ			許容度	VIF
1	(定数)	1.387	.672		2.064	.040		
	平均値: 過去否定タイプ	-.006	.109	-.003	-.053	.958	.794	1.260
	平均値: 現在快樂タイプ	.214	.117	.099	1.836	.067	.887	1.128
	平均値: 未来型	.327	.112	.162	2.914	.004	.834	1.199
	平均値: 過去肯定	.237	.108	.119	2.195	.029	.881	1.135
	平均値: 現在宿命	-.118	.136	-.053	-.872	.384	.690	1.449

a. 従属変数 経験値